

令和5年度 校内実践報告会

研究テーマ

「学びにつながる カリキュラム・マネジメント」

学習内容を明確にする単元配列表の作成を中心 として

東京都立高島特別支援学校
研究研修部

■本校の研究

3年間の計画で、教科と各教科等を合わせた指導の「単元」を主な単位とした系統性の確立・関連性の整理を行い、本校における単元配列表の構築を目指します。

単元配列表から年間指導計画の作成、単元の学習計画の立案につなげます。

授業・指導の改善を図る過程を通して、3観点を踏まえた学習評価の実施をシステム化していきます。

■本校の研究

カリキュラム・マネジメント

1. 教科等横断的な視点で組み立てていくこと
2. 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと ⇒一連のPDCAサイクルの確立
3. 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと
⇒外部資源も含めて活用する
4. 個別の指導計画の実施状況の評価と改善を、教育課程の評価と改善につなげていくよう工夫すること。

■本校の研究

(1)単元の配列について系統性及び関連性の検討

教科と各教科等を合わせた指導の単元を主な単位とした系統性を確立
単元の関連性の整理
単元配列表の構築→指導の継続性

■本校の研究

(2)授業の改善・工夫

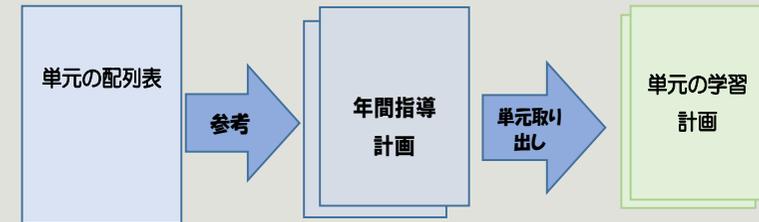
3観点に基づく学習評価 → 学習の改善
システム化

「子供たちの自ら学ぶ姿」の積み上げ (単元の学習計画の蓄積)

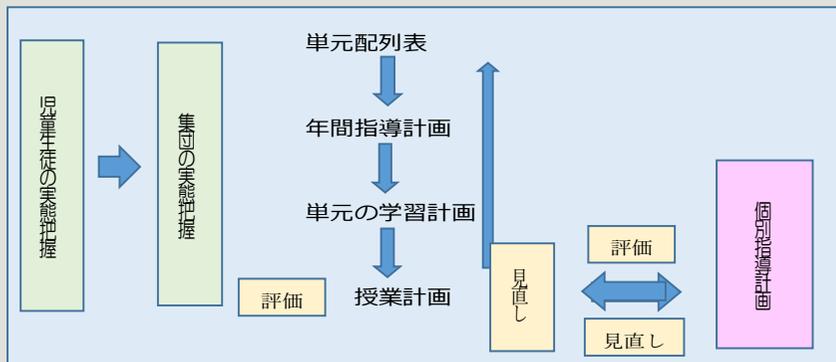
■本校の研究

単元配列表から年間指導計画作成

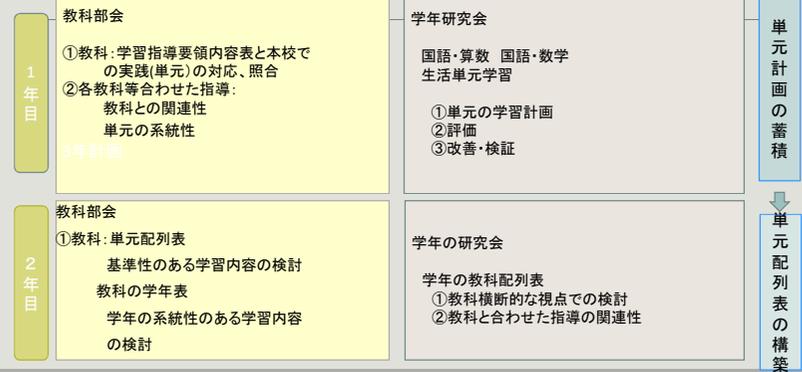
- 単元を取り出し 単元の学習計画作成
- 学習評価と授業改善



■本校の研究



■本校の研究



単元配列表作成の取り組み

【学習内容チェック表】

【学習内容表】

単元配列表作成の取り組み

学習指導要領に基づき
学習内容・単元の開発と精選

S4教科部会
【学習内容表】

S5教科部会
単元の開発

教科の単元配列表
作成

教科の学年配列表
学年での系統性

単元配列表作成の取り組み

学年の教科配列表(シラバス)
教科横断的な視点での見直し

単元配列表

学年配列表

単元配列表作成の取り組み

■2年目 研究の経過

- (1) 学習指導要領の内容と構成の理解
 学習指導要領と本校の学習内容の照らし合わせ
 →令和4年度「学習内容チェック表」
 「学習内容表」
- (2) 単元配列表の作成
 - ・S4「学習内容表」から項目(学習内容と目標)の整理
 - ・教科書(☆本)から単元を作成
 個々の児童生徒の学習状況を考慮し目標や指導内容を設定

単元配列表作成の取り組み

(3)単元の配列について系統性及び関連性の検討→単元配列表

- ・学習指導要領の段階に応じた単元の配列を検討する。
- ・年間を通して、また学年を通した教科の系統性を検討する。
- ・教科等合わせた指導では、構成する教科を配列し、教科との系統性、関連性を検討する。

単元配列表作成の取り組み

学習指導要領の中で整理された教科の段階や学習内容について理解を深めることができた。

取り扱っていない学習内容、何度も重複している内容があることがわかった。

本校でこれまで取り組んできた単元について改めて教科としてのねらいに気付くことができた。

単元配列表作成の取り組み

教科書(☆本)のあるものは学習指導要領の目標や内容が具体化された中で、単元配列の検討をすることができた。

S4「学習内容表」の単元から重複しているものの検討や取り扱っていない単元の開発や☆本から参考に取り入れることができた。

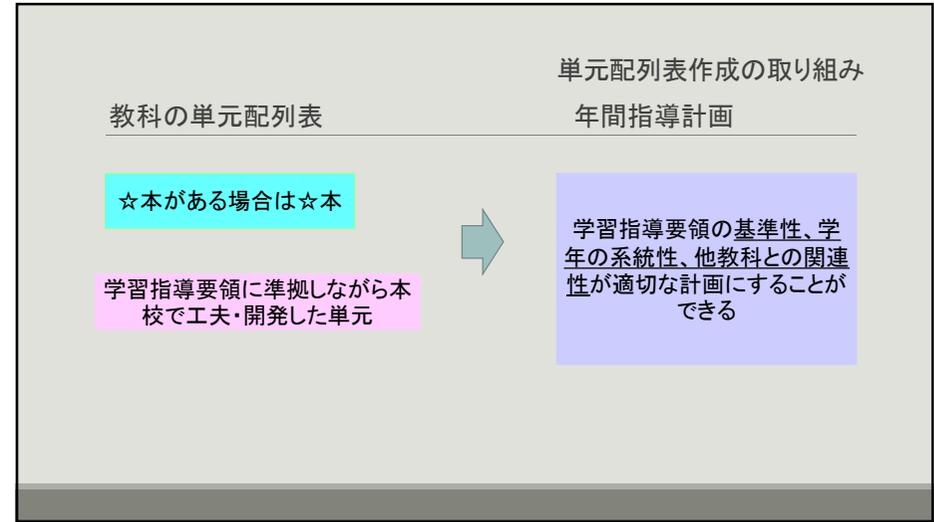
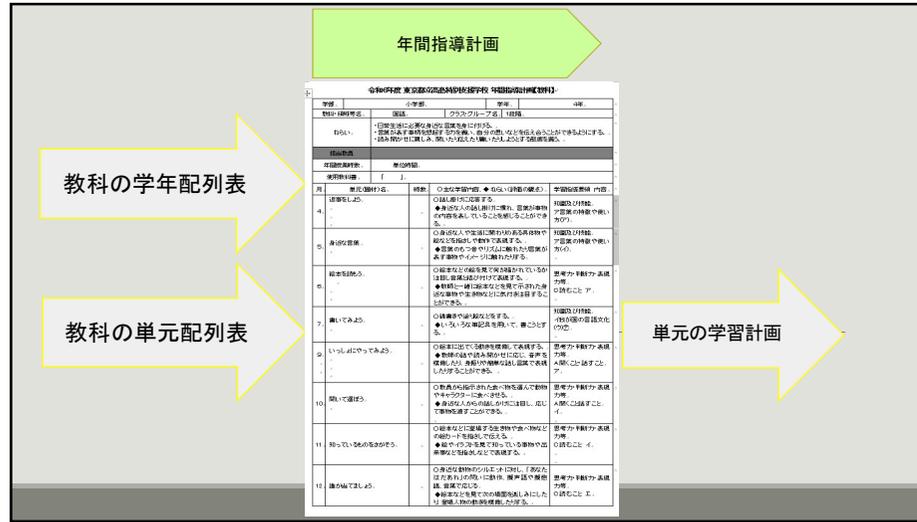
「教科の学年配列表」により学年としてよりふさわしい「題材」や学年の系統性、順序性の検討に入ることができた。

単元配列表作成の取り組み

学年の教科配列表を作成することにより、各教科の横断的な視点で検討することができた。

→行事や生活単元学習と教科の関連をみながら、学習時期を検討をした

→教科で学ぶことと合わせた指導で学ぶことの比較や妥当性の検討（検討のスタート地点）



■3年目 今後の研究

(1)教科と各教科等を合わせた指導の「単元」を主な単位とした系 統性の確立・関連性の整理

- ➡ 関連性や系統性について検討、整理を行うことで、「各教科等を合わせた指導」で行うことと「教科」として行うことの妥当性、どの単元でどの内容をどのように取り扱うことが有効かなどの整理ができる。
- ➡ 学ぶべき内容の教科別の指導と各教科等を合わせた指導との振り分け

■3年目 今後の研究

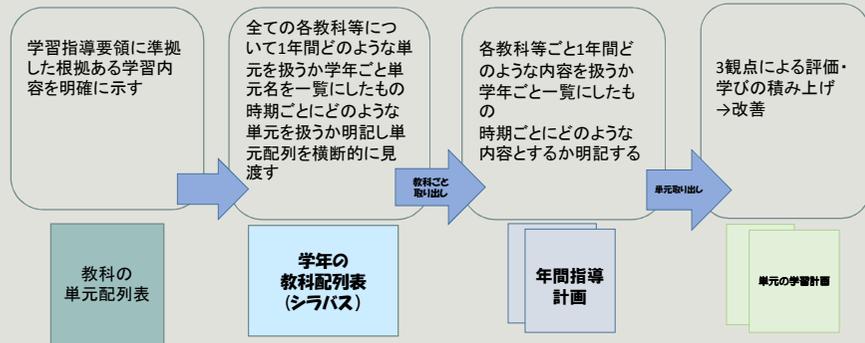
(2)単元配列表と年間指導計画の完成

- ➡ 学習指導要領に則り、本校の実態や地域の特性などから開発した単元配列表を基に、他教科との関連性や学年としての持続性、統合性のある年間指導計画を作成する。

(3)単元の学習計画から 各単元での「学びの積み上げ」

- ➡ 授業実践を通して、児童・生徒の学びの様子を具体的に捉え記録することで、実証する。また計画の妥当性を検証する。

■3年目 今後の研究



■3年目 今後の研究

「育成を目指す資質・能力」を子供に育むために、資質・能力を3つの柱で整理し、カリキュラム・マネジメントを通してその育成の実現をめざす。